



19980601 [9801] 総53号 発行 桂坂自治連合会 広報編集部

よりよい桂坂を目指して 各種団体長ら 情報を交換

桂坂みどり会

五月十七日、平成一〇年

度の「桂坂みどり会」が開催されました。この会は学区内の各種団体長、小中学校長、施設長らの皆さんと各自治会長を含む自治連合会役員との懇談会です。

よりよい桂坂を創っていくために、現在の活動状況について情報交換が行われ、実行していくことのあれこれについても話合われました。その主なものは三題。

Ⅰ：行政懇談会
例年、秋に開かれる行政との懇談会に、各自治会、各種団体ごとに公共性の高い要望事項を、具体的な形で七月末までに集約し、それを自治連合会でとりまとめて九月初旬に行政側に提出することになります。

Ⅱ：記念事業について
「一〇周年記念」という

来年度に控える大きな行事を計画・実施するに当り、いよいよ専門部会ごとに準備に入ります。各部会でのような行事を行い、予算はどれだけ必要かなど話し合い、一〇月をメドにその粗かたの内容を決めます。また募金は、学区の多くの皆さんの賛同を得て、企業のご芳志のものとは別に現在、七、八十万円が集まりました。その後、趣旨

に賛同、追加で募金をしてください方もあります。記念事業実行委員会としては、この桂坂に有用な会館・消防器具庫の建設を願いつつ「募金活動の期日以後にこの桂坂に移り住まれた方にも趣旨をお話して協力を願って頂くほか、今後とも更なるご協力を得べく地道に努力を続けていく所存」ということです。

Ⅲ：夏祭りについて
昨年は「〇一五七」騒動で盛り上がりましたが、今年、衛生面に細心の注意を払いながら、賑やかな夏祭りを実施したいとの意向がどの自治会においても強いようで、自治連合会の役員会で今後、実施要領など慎重に検討していくことになりました。

桂坂小学校・大枝中学校の周辺は目に余る汚れよう、捨ておかれたゴミには食ベカスをビニール袋に詰めたものや、生徒さんにはとても見せられないような代物まで含まれています。今月初めに各自治会より二名づつ出たいただいた方で特別班を編成して清掃を行い、見違えるようにきれいになりました。

ただ、いくら綺麗にしても、心ない人の手で元の木阿弥となるのではたまりません。秋はまた、同じような要領でふれあい会館周辺を清掃する予定です。

来年は「〇一五七」騒動で盛り上がりましたが、今年、衛生面に細心の注意を払いながら、賑やかな夏祭りを実施したいとの意向がどの自治会においても強いようで、自治連合会の役員会で今後、実施要領など慎重に検討していくことになりました。

来年度に控える大きな行事を計画・実施するに当り、いよいよ専門部会ごとに準備に入ります。各部会でのような行事を行い、予算はどれだけ必要かなど話し合い、一〇月をメドにその粗かたの内容を決めます。また募金は、学区の多くの皆さんの賛同を得て、企業のご芳志のものとは別に現在、七、八十万円が集まりました。その後、趣旨

クリーンデーに思う

さくら自治会 五十嵐 幸夫

夕バコの吸い殻、空き缶、食べ物のふくろなど、いろいろな物が道路に捨てられている。人気のない道路沿いには、フトンや家具、大型の電気製品が捨てられ、車までも放置されたままになっている。コイン洗車場からは、磨き上げられた車が、捨てたゴミを残したまま走り去っていく。こうした光景はもう見慣れたものとなってしまう。

そのま、ゴミの不法投棄や産廃問題、不完全な焼却処理によって生じたとされる猛毒のダイオキシンの問題、さらに地球規模のゴミとして、先の地球温暖化防止京都議の中心議題でもあった二酸化炭素の問題、環境ホルモンに影響を

与えているといわれる様々な化学物質の問題など、ゴミをとりまく問題は、見た目の不快・不潔感のレベルから、人類の存亡にかかわる問題になってきている。ゴミを平気で捨てた人は自分から遠ざけたつもりで、

「のものに、形を変えて命を脅かされ、一方、ゴミを決められたとおり処分していた人も、さらには捨てられたゴミを拾い集める人にも、その良質なマナーや善意とは関係なく、等しく命が脅かされている状況が生

じているのである。クリーンデーで拾うゴミのほとんどは外部から持ち込まれたものである。ゴミを拾い集めながら、「どんな育ち方をすれば、ゴミを平気で捨てる人間になるのか」とついつい、返すことになる。

ゴミはその殆どが人類の生活の便利さと引き換えに作り出された物である。生活の便利さの追求が経済の発展を支え雇用を促進していることを考えれば、ゴミを減らすことは簡単なことではない。しかし問題は自分達や子孫の命に関わっている。こうしたことを踏まえて、これからのクリーンデーの在り方を考えていきたい。

市民検診 7月6日(月) 1時30分～3時30分 桂坂小講堂

見につながるようにと、無理をつしんでもらうように等の意味もあるようです。又、保健所では検診結果に基づき昨年の数値と大きい変化のある方や、標準より大きくはみ出している方等に訪問指導がなされています。訪問件数が多いので不在の場合は再度訪問はないようです。

この検査は普通約九百円かかります。これらが三百円で受診できるのですから受けなきゃ損々です。七〇歳以上は老人医療受給証を持参すれば無料です。更に数値は昨年と大きく変わらぬのに「要指導」から「要医療」に変わった方も多いと思います。これは数値のコンピュータ判断を厳しくして病気の早期発

今年一回自分の健康チェックに丁度よい機会です。なにかにはセット検診で腸にポリプ発見、簡単な除去で済んだ方等、検診で早期発見で助かったといわれる方が数多くおられます。健康な人が病院で検査してもらおうと実費約一万円強かかります。保健でも三〇%、約三千円の支払い

「市民検診」です。これが三百円でできるのが「市民検診」です。平成九年度から糖尿病検査がより充実しました。今までは屋食後一、二時間の検査で尿糖、血糖値ともに高くなっているのが、食事に関係のない糖尿病検査の「ヘモグロビン エーワンシー」検査が追加されました。この検査は普通約九百円かかります。これらが三百円で受診できるのですから受けなきゃ損々です。

尚、桂坂では保健所から各戸に配布される「検診日程表」の他に、前日の夜、当日の朝に告知放送でお知らせしています。もし桂坂での検診日が都合悪ければこの表により他の検診会場に行っていたいただいても結構です。

桂坂みどり会 会長 松尾 隆夫

桂坂保健協議会

桂坂小学校・大枝中学校の周辺は目に余る汚れよう、捨ておかれたゴミには食ベカスをビニール袋に詰めたものや、生徒さんにはとても見せられないような代物まで含まれています。今月初めに各自治会より二名づつ出たいただいた方で特別班を編成して清掃を行い、見違えるようにきれいになりました。

ただ、いくら綺麗にしても、心ない人の手で元の木阿弥となるのではたまりません。秋はまた、同じような要領でふれあい会館周辺を清掃する予定です。

来年は「〇一五七」騒動で盛り上がりましたが、今年、衛生面に細心の注意を払いながら、賑やかな夏祭りを実施したいとの意向がどの自治会においても強いようで、自治連合会の役員会で今後、実施要領など慎重に検討していくことになりました。

来年度に控える大きな行事を計画・実施するに当り、いよいよ専門部会ごとに準備に入ります。各部会でのような行事を行い、予算はどれだけ必要かなど話し合い、一〇月をメドにその粗かたの内容を決めます。また募金は、学区の多くの皆さんの賛同を得て、企業のご芳志のものとは別に現在、七、八十万円が集まりました。その後、趣旨

よりよい桂坂を創っていくために、現在の活動状況について情報交換が行われ、実行していくことのあれこれについても話合われました。その主なものは三題。

Ⅰ：行政懇談会
例年、秋に開かれる行政との懇談会に、各自治会、各種団体ごとに公共性の高い要望事項を、具体的な形で七月末までに集約し、それを自治連合会でとりまとめて九月初旬に行政側に提出することになります。

Ⅱ：記念事業について
「一〇周年記念」という

来年度に控える大きな行事を計画・実施するに当り、いよいよ専門部会ごとに準備に入ります。各部会でのような行事を行い、予算はどれだけ必要かなど話し合い、一〇月をメドにその粗かたの内容を決めます。また募金は、学区の多くの皆さんの賛同を得て、企業のご芳志のものとは別に現在、七、八十万円が集まりました。その後、趣旨

桂坂みどり会 会長 松尾 隆夫

桂坂保健協議会

「のものに、形を変えて命を脅かされ、一方、ゴミを決められたとおり処分していた人も、さらには捨てられたゴミを拾い集める人にも、その良質なマナーや善意とは関係なく、等しく命が脅かされている状況が生

と、無理をつしんでもらうように等の意味もあるようです。又、保健所では検診結果に基づき昨年の数値と大きい変化のある方や、標準より大きくはみ出している方等に訪問指導がなされています。訪問件数が多いので不在の場合は再度訪問はないようです。

この検査は普通約九百円かかります。これらが三百円で受診できるのですから受けなきゃ損々です。七〇歳以上は老人医療受給証を持参すれば無料です。更に数値は昨年と大きく変わらぬのに「要指導」から「要医療」に変わった方も多いと思います。これは数値のコンピュータ判断を厳しくして病気の早期発

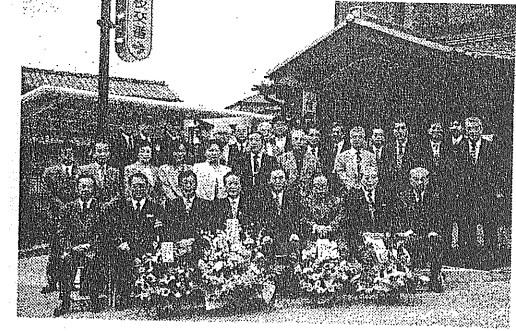
尚、桂坂では保健所から各戸に配布される「検診日程表」の他に、前日の夜、当日の朝に告知放送でお知らせしています。もし桂坂での検診日が都合悪ければこの表により他の検診会場に行っていたいただいても結構です。

桂坂みどり会 会長 松尾 隆夫

桂坂保健協議会

桂坂小学校・大枝中学校の周辺は目に余る汚れよう、捨ておかれたゴミには食ベカスをビニール袋に詰めたものや、生徒さんにはとても見せられないような代物まで含まれています。今月初めに各自治会より二名づつ出たいただいた方で特別班を編成して清掃を行い、見違えるようにきれいになりました。

ただ、いくら綺麗にしても、心ない人の手で元の木阿弥となるのではたまりません。秋はまた、同じような要領でふれあい会館周辺を清掃する予定です。



大枝交番 落成式
去る四月二十七日、一〇時より大枝交番の落成式が執り行われました。

福田桂警察署長の式辞、菊池自治連合会長、林桂防犯協会長らの祝いの言葉。西洋環境開発・高塚工務店など施工関係者に対する感謝状の贈呈があった。最後に、二名づつ三交替で二四時間勤務に当たる六名の巡査の紹介。

交番設置までに五年の歳月を要しましたが、今後も「安心・安全の街づくり」のために私たちも協力して行きたいものです。

当日、自治連合会よりお祝いに、盛り花を献呈しました。

初級講座 (エーワンシー)
日時 毎月第2・4金曜 10:00～15:00
内容 寝たきり予防の知識・介護技術を学ぶ
定員 二〇名

入門講座
日時 毎月第2・4水曜 午前か午後の
内容 介護機器展示室の見学と機器体験
定員 二〇名

ふれあい会館案内
▲介護関係▼
初級講座 (エーワンシー)
日時 毎月第2・4金曜 10:00～15:00
内容 寝たきり予防の知識・介護技術を学ぶ
定員 二〇名

ク体験や在宅サービス活用法の説明など
定員 団体の参加のみ 二〇名まで
場所 健康増進室(2階) 申込 前日までに
☎ 333-4656
FAX 333-4664

花の木ラウンジ
野鳥公園
全皇陽館
六月の催し物
俳句展
七月の催し物
写真展

花の木ラウンジ
野鳥公園
全皇陽館
六月の催し物
俳句展
七月の催し物
写真展

山林火災と消防ゴッコ

大枝消防団桂坂班 梶間俊郎

空は晴天、真っ青に晴れ上がり、正面には西山の濃い緑が煌めき、眼下には西桂坂の屋根たち、その間にマンションも見えます。それぞれ個性をもった屋根たちが、隣同士、まるで世間話でもしているようです。本当に素晴らしい眺めです。

ところが、今はそんな夢見心地に浸っている場合ではありません。ホースの重みと水圧の重み。この姿勢でもうどのくらい時間が経ったでしょうか？

ジワジワと腕が重められ、ギブアップ寸前です。そんなのです、内一二の消防分団（大枝・大原

野・檜原・新林・川岡東などがふれあいの里周辺に集結（この近所の皆さまには大変ご迷惑をおかけしたことを思います）ここで、女性団員らは救護訓練へ、男性陣は山林消火訓練へ。

西養護学校の裏山（北側の火災を想定、小型動力ポンプを担いで山に登り、放水するのです。ところが、この裏山が曲者。下からは何でもないので見えたのですが、いざ登ってみると身一つ上げるのも大変。ポンプはあきらめて

途中で置き、ホースを継いで水を上げることになりました。やっとの思いでホースを上げ、放水となりましたが、かなりの距離をホースで継いだこと、高低差から水があまり上がりません。これでは実際の火事には無理でしょう。ただ、ホースを支える方は、その分楽になりました。

短い訓練にもかかわらず色々ありました。が、こうして一つ一つ経験を積み、何度も繰り返して身につけていくことが大切なことだと思えます。

現在私たちは、五月二四日の査閲に向け、連日のように訓練を続けていますが皆さまのご協力により、消防器具庫（詰所）も作っていただけることとなり、私たちも一日も早く一人前になつて、ゴッコを脱皮できるように頑張っていきたいと思えます。

（五月二〇日記）

楽しかった 桂坂陶芸まつり

井出信子（編集委員）



毎年恒例の「桂坂陶器祭り」が五月二十三日に洛西ふれあいの里授産園で開催されました。

五月だというのに、三十九度を超す暑さでしたが、沢山の人が賑わっていました。

この催しは、授産園と保護者会、そして陶芸教室などの利用者の皆さんによって構成された実行委員会の手で実施されます。桂坂自治連合会や社会福祉協議会

は後援。

園の中では解放された各作業室の見学、そして陶芸体験コーナーではマグカップ、織り体験コーナーではコースターの制作ができましたし、陶芸教室の作品展も開かれていました。広場では陶器・織り製品の販売も行われました。

さらに北海道の産地直送品の販売、バザー、リカー

ショップもい、おばんざい晴、ふるさと広場、軽食コーナー、子供の遊びコーナー、屋外ステージではバンド「アフターファイブ」によるオールディーズ生演奏会と盛り沢山でした。

今回、私は初めて子供と一緒に参加いたしました桂坂の山々に響き渡る中、偶然出くわした地域の方々

と会話も大いに弾み「こんな近場で楽しめる」と嬉しくなりました。

この祭りは「ふれあいの里」各施設からのアピールです。地域の皆さんと近づき、福祉を理解してもらい、交流を持ちたいと地域の大きな願いがあります。

地域における「福祉とのふれあい」を少しでも感じられたら素敵なことではないでしょうか。

前日の雨がウソのように晴れた五月一七日——統一クリーンデーの清掃終了後、しらかば会館において、西京消防署の福田氏、島田氏、同救急隊長川北氏他二名、計五名の方の来訪により、しらかば自治会会員一七名の参加のもと「救急通報と応急手当」についての防災研修が行われました。

地図でもすぐ分かる大きな目標をいってもらう。②落着いて状況を説明する。③救急活動をスムーズにするために運転中の車は救急車に進路をあける。救急活動を邪魔しない。次に命に関わる応急手当に「心肺蘇生法」が

①脈拍がなければ心臓マッサージを行う。例えば胸骨が折れそうでもためらわずにマッサージを行う。骨折ならいづれ治るけれど、命を落とせばそれで終わり。呼吸が止まって五分以内が勝負どころだ

研修中も、緊急出動ありで、緊張した場面もありましたが、川北隊長さんの楽しいトークとよくなる解説で一同、「ふむ、ふむ、そうか、納得」という感じに進みました。

最後に、「セー又川の少女」という名の人形を使って「心肺蘇生法」の体験をしました。お話をうかがうだけというより、実際に体験したほうがずっとことは身近に感じられました。

西京消防署（Sagey Fire Dept.）では、「いつでも気軽にご連絡ください、消防職員がご指導いたします」とのこと。「スワ、一大事」に備えて、皆様も一回でも多く、救急法を体験なさってはいかがでしょう。

しらかば「防災研修」 救急通報と応急手当 — 心肺蘇生法について —

編集委員 鎌屋まゆみ

救急車の出動要請を受けて困るのが、車で移動中にたまたま緊急事態に居合わせ、携帯電話などから通報するが、現場がどこかはっきりしない場合や、慌てていて場所も正確な目標も詳しくいわない場合が多く、そのため現場を特定できず、結果、救急車の現場到着が遅くなることだそうです。

それを防ぐために、幾つかのポイントを挙げると、①ケガや急病は「一九番。場所を詳しく」「〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番地です」、目標ははっきりと、例えば「しらかば自治会館の北〇〇mです」など

②次に口の中を調べて異物を取り除いて気道を確保し、呼吸がなければ人工呼吸をする。

③脈拍がなければ心臓マッサージを行う。例えば胸骨が折れそうでもためらわずにマッサージを行う。骨折ならいづれ治るけれど、命を落とせばそれで終わり。呼吸が止まって五分以内が勝負どころだ

研修中も、緊急出動ありで、緊張した場面もありましたが、川北隊長さんの楽しいトークとよくなる解説で一同、「ふむ、ふむ、そうか、納得」という感じに進みました。

最後に、「セー又川の少女」という名の人形を使って「心肺蘇生法」の体験をしました。お話をうかがうだけというより、実際に体験したほうがずっとことは身近に感じられました。

西京消防署（Sagey Fire Dept.）では、「いつでも気軽にご連絡ください、消防職員がご指導いたします」とのこと。「スワ、一大事」に備えて、皆様も一回でも多く、救急法を体験なさってはいかがでしょう。

谷崎潤一郎を読み直す 鈴木真美登野 無料 定員 申込先着 五〇〇名 申込先 日文研庶務課 06-6611-2016 FAX 06-6611-2011

私の桂坂

子 藤 敏 齋 (編集委員)

いきましました。舞台のバックに真っ赤な夕日が沈んでコンサートが始まった時は感動して、引越して来てよかったと優雅になりました

「吉野での撮影の直前に突然吹いてきた風に朱雀の神（奈良の西山の神を朱雀というそうです）を感じ、また「萌」には生命の意を託して、つけられたそうです。監督はその山で「UFOを見たんですよ」って、「嘘だと思おう人には見えな

「誰かが一〇〇%の力を出せる。出し切った、その一〇〇%を乗り越えた、次の力が人に訴えもし、そこから芸術も生れるのだ」と。山で生活する登場人物の家族一人一人が生きていく姿を描いた、この作品のタイトルは、実は、監督が、

「神秘的な」語りをもっと聞きたかったけど、時間が来て残念ながら話は終わりました。

ろしくお願いいたします。

北川 喜平(かえで) 高野 忠義(たけやま)

齋藤 敏子(さとう) 三河 春樹(さつき) 中村 久乃(ひらぎ)

鎌屋まゆみ(しらかば) 尾崎 安彦(おのの) 外山 友子(ともみ)

大倉 登喜子(あかしあ) 城戸 輝子(てるこ)